



第 011号 2020 年 7 月 15日 小宮綾子

明るく生きのびよう

不要不急の外出が自粛になり、スケジュールがすべてキャンセルになった時、「ずっと忙しい生活をしてきたので、この際、徹底的に怠けよう」と思って実行したら、本当に怠け者になってしまいました。処理能力は落ち、特別給付金10万円の申請書に書き込んで発送するのにも3日かかる始末。せめてその辺を片付けようとしても、気になるものが出てくると、そっちにいつてしまいます。散歩に出ても、人に会ってはいけないので、前方に人が来ると必ず道を曲がることにしたので、何所にたどり着くかもわかりません。

人類はもとより生物は、発生してこの方、いろいろな原因で淘汰され、絶滅し、進化(変化)してきました。それは大隕石が落ちたり、火山が大爆発したりもあるけれど、ウイルスの蔓延もその一つで、歴史上必ず起こることです。したがって、ここを生きのびた人々が、多少とも変化した人類になっていくのですから、めいめいが、自分で生きのびるべきです。

生きのびるには、運や回り合わせもありますが、対応のいい国に生まれるとか、社会のウイルス対策を上手に受け入れるとか、丈夫で免疫力があるとか、OA を使いこなせるとか、生きる糧を得る新しい仕事を捜せるとか、……政府や自治体の援助はきりがありませんし、やがてはものすごい増税で戻ってきて、自力で生きのびようとしている人達の足をひっぱることになるでしょう。

この問題はどうなっていくか、興味津々で見に行こうと思います。

小宮 綾子 (元・歴史書編集者)